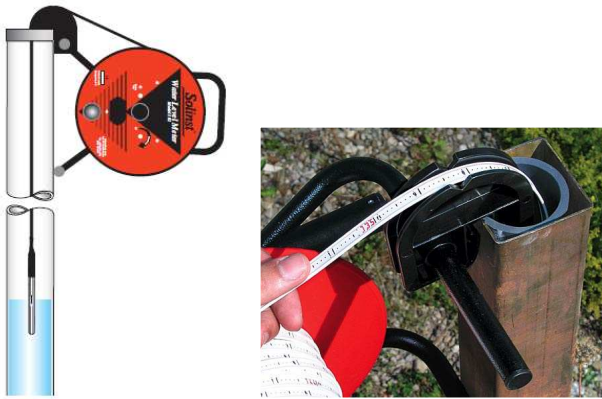


取扱説明書 Model 101**動作原理**

ソリント モデル101水位計は直径14mm(P2プローブ) / 12.7mm(P6プローブ)の細いプローブを使用しています。導通回路が導電性の液体を判定し、計測を行います。

装置のチェック

電源をONにすると電子回路とバッテリー状態のチェックが自動的に行われます。短い電子音と赤いランプが点灯すれば水位計は正常な動作状態であることを示しています。

**現場での測定**

1. パネル全面のツマミを回してONにします。短い電子音と赤いランプが点灯すればメーターは測定可の状態にあります。また電源スイッチをOFFにしない限り、メーターはONの状態を保ちます。使用しない場合は電池を消耗しますので、OFFにするよう心がけて下さい。
2. 井戸の中へプローブを下げに行きます。井戸口元によるテープの消耗(摩擦摩耗)を防ぐため、付属のテープガイドを使用することを推奨します。テープガイドを使用する時には、テープガイド上の溝に乗せながらテープを下げます。深度の読み取りはテープガイドのV切り込みの位置で行います(写真参照)。V切り込みによる読取値から60mmを引くと、井戸管頭からの水位となります。

3. プローブが液体に触れると断続音が鳴って同時にランプが点滅します。
4. 読み取りが完了したら、電源スイッチをOFFの位置まで回します。使用後は必ず以下の手順に従い、テープとプローブの汚れをきれいに落すように心掛けましょう。

テープガイド**クリーニングとメンテナンス**

使用後は柔らかいスポンジに中性洗剤をつけてプローブを完全に洗います。溶剤を使用してはいけません。先端のピンやプリズムは柔らかなクロスで油を拭きとります。熱湯ではなくぬるま湯で洗います。プローブを蒸留水ですすぎ、湿気を拭き取ります。

電池の交換

バッテリーが低下するとブザー音が弱くなります。その際は電池の交換を行って下さい。交換バッテリーは9ボルトのアルカリ電池です。バッテリーの極性を間違えるとプローブが壊れる可能性があります。バッテリーの極性を確かめて下さい。

